



**可決された意見書等**

- 新型コロナウイルス感染症・経済対策に関する意見書
- 保育人材の確保及び処遇改善等を求める意見書
- 出産育児一時金の増額を求める意見書
- 国営諫早湾干拓事業潮受堤排水門を開門しないとの方針を堅持した上で真の有明海再生を目指すことを求める意見書

**審査した案件と結果**

知事提出の議案	・予算……5件(可決) ・条例……8件(可決)	・事件……5件(可決) ・人事……1件(同意)	・専決……2件(承認) ・認定……4件(認定)
議員等提出の案件	・議員派遣……1件(可決)	・意見書……4件(可決)	
請願	2件……(不採択)		



**お知らせ**

**動画配信** 本会議・委員会の中継・録画配信を行っています。一般質問の表題横のQRコードから当該一般質問の録画にアクセスできます。

**ホームページ・会議録**  
会議録全文を掲載しています。 [長崎県議会](#)

**【掲載内容】**

- 平成8年2月～令和3年9月定例会の本会議・常任委員会
- 平成24年4月～令和3年11月分の特別委員会
- 本会議・委員会は、原則としてだれでも傍聴できます。

ただし、新型コロナウイルス感染症対策として密集を避けるため、令和3年11月定例会については、議場の利用できる傍聴席数を150席(車いす利用席及び親子傍聴席を含む)に限定しました。(委員会室の利用できる傍聴席数は10席に限定)

**《次回定例会》令和4年3月に開会予定です。**

**テレビ放送** 「県議会リポート」令和4年1月22日(土) 15:55～16:25 NCC長崎文化放送 5ch

## 令和3年11月定例会が開催され活発な論議が交わされました。

令和3年11月定例会は、11月26日から27日まで開かれ、9月定例会で継続審査とされていた「令和2年度長崎県一般会計決算及び各特別会計決算の認定について」など4件を認定しました。

次に、「令和3年度長崎県一般会計補正予算(第15号)」などの議案が上程され、中村知事が県政の重要事項について報告し、当面する諸課題について所信を述べるとともに、提出議案について提案理由の説明を行いました。

一般質問では、12名の議員が登壇し、農林業振興、特定複合観光施設(1R)区域整備の推進と観光振興、菅瀬ダム水利権変更及び濁水対策、健康長寿日本一の取組状況と見直し、土砂災害の対応、フェムテックと女性活躍社会、G7サミット関係閣僚会合の誘致、アンテナショップ「日本橋 長崎館」、ひきこもり支援策の充実、夜間中学の設置、石木ダム事業など様々な事項について活発な論議が交わされました。

補正予算については、新型コロナウイルス感染症対策に要する経費、災害復旧・関連等に要する経費、国庫補助事業の内示等に伴う事業費の追加、職員給与と費の既定予算の過不足の調整に要する経費、その他緊急を要する経費について編成され、12月21日に「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に伴う国の補正予算に早期に対応するため、新型コロナウイルス感染症対策に要する経費として「令和3年度長崎県一般会計補正予算(第17号)」が追加上程され、本年度の一般会計の歳入歳出予算額は、820億506万2千円となり、昨年同期の令和2年度11月現計予算と比べ、41億1383万3千円の減となりました。

本定例会では、26件の議案を原案のとおり可決・承認・同意・認定するとともに、2件の請願を不採択とし、また「新型コロナウイルス感染症・経済対策に関する意見書」など4件の意見書を可決し閉会しました。

### 一般質問

**健康長寿日本一について**

**深堀 ひろし** (長崎市/改革21)

**【質問】**県民の一人当たりの医療費は全国2位と高い水準にあるが、循環器系の疾患、高血圧性疾患、糖尿病、がん、骨折などの発生率が全国平均を上回っている。原因は、高齢者の増加、生活習慣病の増加、人口当たりの患者数が全国平均を上回っていることなどが要因の一つ。健康診査のデータ分析結果から課題を抽出し、対策を講じていく必要がある。各種統計データを横断的に分析し、全世代を通じた対策を検討したい。

**菅瀬ダムの水利権の変更及び緊急時の濁水対策について**

**小林 克敏** (大村市/自由民主党/県民会議)

**【質問】**水利権の変更に伴う菅瀬ダムの水利権の変更は可能か。また、緊急時の濁水対策の仕組みが調整できるかと考えるがいかがか。

**【答弁】**水利権は、関係市間で合意があった場合に、国の同意も必要となるが、河川管理者として水利権の見直しも可能と考える。水道事業者から申入れがあれば、関係水利権者を参集し、現状の課題や将来の水利権について話し合いたい。また、濁水時の水利調整や事故が発生した場合の相互支援に関する事前取り決めの締結を働きかけることも検討してまいりたい。

**IR区域整備の推進について**

**宅島 寿一** (雲仙市/自由民主党)

**【質問】**九州・長崎1Rは、政府が掲げる国際競争力の高い滞在型観光の実現を図るうえで、どのような貢献に資するものか。

**【答弁】**国においては、1R導入により、2030年に訪日外国人旅行者数を6千万人、消費額を15兆円とする政府の観光戦略の目標達成への貢献が期待されている。九州・長崎1Rの実現は、新たな人の流れを生み、国境離島の保全振興・伝統文化等の保全活用にも寄与する。加えて設備投資等による大きな経済効果や雇用創出が見込まれ、九州の地方創生、我が国の発展に貢献するものと考えている。

**農林業振興について**

**八江 利香** (諫早市/自由民主党/県民会議)

**【質問】**諫早平野の水田に帯への園芸作物の導入について、県として、どのような取組を計画しているか。

**【答弁】**県としては、水田への高収益作物の導入・産地化を進めるため、小野・森山地区に重点推進地区を設定し、市町や農業団体と連携し、地域担い手の明確化や品目の農地のソーニング等の将来像を描いた人・農地・産地プランの話し合いを促進し、その実現に向けた水田の畑地化や園芸用ハウスの整備等の支援を行うこと、諫早平野が県内の園芸産地のモデルとなるよう取組を進めていく。

**「日本橋 長崎館」について**

**山本 由夫** (島原市/自由民主党/県民会議)

**【質問】**首脳圏に、本県のアンテナショップ「日本橋 長崎館」がオープンして、もうすぐ6年が経過する。これまでの来館者数と売上は、4000万円である。今年度は、市町と連携して新商品等のテスト販売コーナーを設置し、商品の販売状況や消費者意見を商品改良等につなげる機能の強化に取り組んでいる。今後とも関係者と連携を図り、首脳圏における魅力を発信し、販路拡大に取り組んでいく。

**G7サミット関係閣僚会合の誘致について**

**久保田 将誠** (長崎市/自由民主党)

**【質問】**G7サミット関係閣僚会合(2023)について、長崎市と共同で誘致に取り組みするはあるか。

**【答弁】**関係閣僚会合が国際都市である長崎市で開催されることは大変意義深いことであると考えている。開催が実現すれば、長崎の強みを世界に発信できる大きなチャンスとなる。長崎の強みを世界に発信できる誘致する方が非常に重要となる。コロナ禍での開催も想定されるため、誘致する分野の選定やコロナ対応等について、長崎市と十分に協議しながら検討を進めてまいりたい。

**フェムテックと女性活躍社会について**

**浅田 ますみ** (長崎市/自由民主党/県民会議)

**【質問】**女性特有の健康課題を解決するために開発されたツールであるフェムテックについて、県の考え方は。

**【答弁】**フェムテックとは、生理や妊娠・更年期など女性特有の健康課題を解決する技術・製品、サービスであり、誰もが動きやすい社会の実現、女性活躍の推進に資するものと認識している。女性活躍は本県の活性化にとって大変重要であり、フェムテック等の新たな概念も柔軟に取り入れながら積極的に推進していきたい。

**土砂災害の対応について**

**松本 洋介** (大村市/自由民主党)

**【質問】**県内でハード対策が必要な土砂災害警戒区域の数と災害を未然に防ぐための県の取組は。

**【答弁】**土砂災害の警戒区域の指定数は3万2079か所、うち6585か所が公共事業として対応が求められていることから、国の防災・減災、国土強靭化のための5か年追加予算を活用し、令和3年度は15億円から令和2年度は7億円と約2億円増額し、事業箇所130箇所へ21箇所増やすなど、整備を加速している。引き続き、積極的な予算確保に努め、一層の整備促進に取り組んでいく。

**IR整備推進と観光振興について**

**宮島 大典** (佐世保市/北松浦郡/オールながさき)

**【質問】**1Rの事業効果を拡大していくために、1Rから県内観光地への周遊を促進する必要があることと考えるが、県内観光地の魅力を高めるための県の方針は。

**【答弁】**現在、県内を周遊していたための取組として、観光地の魅力の一つである食に焦点を当てた「ながさきグルメレクシオン」の認定店をめぐるポイントラリーを実施している。今後も引き続き、地元食材を使用した当地グルメの開発や地域での観光資源の磨き上げにより、1Rを契機とする県内周遊につなげていく。

**石木ダム事業について**

**堀江 ひとみ** (長崎市/日本共産党)

**【質問】**反対住民が求めるように、工事中断し話合うべきではないか。

**【答弁】**話合いの実現に向け、反対住民の方々と協議を重ねてきたが、工事中断し話合いの期間中は、仕事をしないよう主張されている。石木ダムは、地域の安全安心を確保するうえで、早期に完成させなければならない重要な事業であり、話合いの長引きが進捗できないことは避けなければならない。合理的に協議を続けることが必要であり、今後とも、理解が得られるよう、努力してまいりたい。

**夜間中学について**

**宮本 法広** (佐世保市/北松浦郡/公明党)

**【質問】**全国的に夜間中学設置の動きがあるが、長崎県の取組状況と今後のスケジュールはどうか。

**【答弁】**これまで全県的なニーズ調査や各市町へ設置の意向についてのアンケートを実施し、市町と協議を行ってきた。これらを総合的に検討した結果、多様な生徒の実態に応じた特別の教育課程を編成できることや、既存の中学校に設置すること、特別教室や教材、教員などを共有できることから、まずは一定のニーズが確認された市町に対して夜間中学設置の検討を依頼することとしている。

**県北地域への思春期対応の精神科医療機関の拡大について**

**堤 典子** (佐世保市/北松浦郡/改革21)

**【質問】**県北地域は児童思春期精神科外来が少ないが、県の考えと対策は。

**【答弁】**県北地域については、佐世保でも、女性障害者支援センターに設置した臨床心理士研修及び保健師養成講座や地域協議会などのケース会議への参加を「長崎県子ども心サポーター」に促すことにより、実際に児童思春期の現場に届けていた。これら取組により、県北地域における診療体制の充実につなげていきたいと考えている。

### 常任委員会 委員長報告

**予算決算委員会** 委員長/山本 由夫

**【質問】**災害関連緊急治山費について、雲仙市小浜町小地獄地区の大規模災害においては、早急な復旧工事が急務と考えるが、今後、どのような対策を進めていくのか。

**【答弁】**緊急対策として、土砂が流れ出さないための大型土留の設置等を既に完了している。また、避難体制の整備について、異常が発生した場合は、早急な避難ができるように、メールと警戒機、地域住民や下方の宿泊施設、県・市へ自動で情報が届くよう、避難・連絡体制を強化している。また、復旧工事については、現在、測量設計を行っており、今年度内に着手できるよう努めたい。

**【主な論議事項】**警察管理費について/ワクチン・検査パッケージに係るPCR等検査無料化事業費について/繰越明許費について 等

**農水経済委員会** 委員長/久保田 将誠

**【質問】**鳥インフルエンザ対策の強化について、11月10日に国内で鳥インフルエンザが発生して以降、九州内を含め各地で発生しているが、県としてどのような対策を講じているのか。

**【答弁】**九州内での発生を受け、本県独自で県下一斉の緊急消毒を行うために消石灰を配付した。鳥インフルエンザウイルスは海外から保菌した渡り鳥が直接鶏舎に侵入する場合や、小動物がその糞を体に付けたまま鶏舎に侵入すること等により発生するため、農家の方々に消石灰の散布や、小動物の侵入を防ぐための鶏舎等の補修及び網の設置、車や従業員の長靴等の消毒の徹底などを指導している。

**【主な論議事項】**長崎県地方卸売市場長崎魚市場条例の一部を改正する条例について/燃油価格高騰対策について 等

**観光生活建設委員会** 委員長/中村 一三

**【質問】**空き家対策について、長崎県住生活基本計画の基本目標に「急増する空き家の適正管理と利活用の推進」が掲げられているが、「移住者向け住宅確保加速化支援事業」における空き家バンクと移住者とのマッチングについての実績と、今後の対策をどのように考えるのか。

**【答弁】**空き家バンクの利用実績は目標の130件に対し、172件と大きく上回り、空き家活用が図られている。令和4年度以降は、民間企業の空き家宅や、空き県職員住宅等の利活用について、民間企業と連携し、事業化に向けた検討を行っており、引き続き空き家の適正管理と利活用の推進を図っていく。

**【主な論議事項】**観光関係事業の成果について/国際交流について/地球温暖化対策の推進について/長崎市域の路線再編について 等

**文教厚生委員会** 委員長/浦川 基継

**【質問】**介護ロボット・ICT普及促進事業について、介護事業所への導入支援について、小規模事業所への導入が遅れているが、今後どのように取り組んでいくのか。

**【答弁】**特に小規模事業所はコスト面が課題となっており、来年度以降も予算を確保し、介護事業所の業務効率化や職員の負担軽減を図り、介護人材の確保を支援していきたい。

**【主な論議事項】**新規卒就職者の離職対策について/「GIGAスクール構想」の実現のための人材育成に係る陳情について/民生委員費について/離島留学の里親制度について/看護職員の育成・確保について/ジェネリック医薬品の供給不足について 等

**県立大学生と議員との交流事業**

学生の政治参画への意識啓発等を目的として、12月6日に「長崎県立大学生と議員との交流事業」を開催しました。参加した地域創造学部公共政策学科の5名の学生は、はじめに県議会の一般質問の様子を傍聴後、各会派から選出された6名の議員に対して、学生達の関心が高い「観光」「人口減少対策」「国際交流」の3つのテーマでインタビューを行いました。この結果は県立大学や県議会のホームページで公表する予定としており、議会としても若者の声を県の施策へ反映していきます。

**《長崎県議会議員特別功労者、永年勤続者表彰式並びに全国都道府県議会議長会永年勤続功労者表彰伝達式》**

令和3年11月26日(金)本会議終了後、標記表彰及び表彰伝達式が長崎県議会議場において行われました。議長から表彰状と記念品の贈呈が行われ、議長あいさつ、知事からお祝いの言葉が述べられました。

- ◇長崎県議会議員特別功労者表彰/(在職30年以上)八江利香議員
- ◇長崎県議会議員永年勤続者表彰/(在職15年)徳永達也議員
- ◇全国都道府県議会議長会永年勤続功労者表彰(在職30年以上)八江利香議員 (在職15年以上)徳永達也議員 (在職10年以上)山口初真議員、前田哲也議員、深堀ひろし議員、中島浩介議員、山本啓介議員